

校 訓 明朗・自律・礼儀

将来ビジョン

主体的に学習に励み、知識や技能を身に付け、自分に誇りや自信を持ち、社会の発展に貢献しようとする生徒を育成することにより、地域から信頼される学校をつくる

令和2年度の重点目標

- (1) 生徒の可能性を信じ、あらゆる場面を通して鍛える教育活動の展開
- (2) 主体的に学ぼうとする態度を身に付け、自ら進路を切り拓いていく生徒の育成
- (3) 強い精神力と他者を思いやる心を持ち、適切な人間関係を築ける生徒の育成
- (4) 地域との連携
- (5) 効果的な広報活動の展開

卒業までに生徒が身につける資質・能力（ディプロマ・ポリシー）

校訓である「明朗・自律・礼儀」を育成の基本理念とし、「鍛ほめ福岡メソッド」を踏まえつつ、国家・社会に貢献できる有為な人材を育成することを目指して、次の四点を卒業までに生徒が身につける資質・能力とする

- (1) 豊かな人間性  
自らを律しつつ、他者とともに協調し、他者を思いやる心や感動する心
- (2) 自己有用感  
自分と他者（集団や社会）との関係において、自他相互の受容的な関わりを通して生まれる自分に対する肯定的な評価
- (3) 探究心  
物事の真の姿を明らかにし、見極めようとする心
- (4) 課題解決能力  
ア 基礎的・基本的な知識・技能及びこれらを活用できる思考力、判断力、表現力、その他の能力  
イ 上記アを土台とした、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力

教育課程編成の在り方（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに掲げた資質・能力を育成するために、以下の教育課程を編成し実施する

- (1) 「わかる授業」により、基礎的・基本的な知識・技能及びこれらを活用できる思考力、判断力、表現力、その他の能力を育成するとともに課題解決能力を育成する
- (2) 授業を通じて、自己有用感、探究心を育成する
- (3) 生徒が主体的に関わる特別活動を通じて豊かな人間性を育成するとともに、自己有用感、探究心、課題解決能力を育成する

求める生徒像（アドミッション・ポリシー）

- (1) 他者と協働できる生徒
- (2) 他者や地域社会のために貢献しようとする生徒
- (3) 身の周りのことや社会に興味・関心を持つ生徒
- (4) 目標達成のために努力できる生徒